

## 安全指導

保護者用

### 水遊び時の事故防止について

R8 年 8 月 19 日(水)

こどもフラス唐津第 2 教室

本格的な夏を迎えました。疲れがでてきて、体調を崩しやすい時期ですが、保護者の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

7 月～9 月は「熱中症対策」「水遊び時の事故防止」「熱中症対策」となっております。

8 月は「水遊び時の事故防止」についてお知らせ致します。

#### 【教室での取り組みについて】

こどもフラスでは子どもたちがより良い環境で学びや遊びを楽しむために様々な取り組みを行っています。

##### 1. 監視体制の役割

水遊びを行う時には、監視体制の空白が生じないように専ら監視を行う者と指導を行う者に分けて設置し、その役割を明確にしています。

##### 2. 事前学習

事故を未然に防ぐため、海水浴、川遊びに関わるリスクや注意すべきポイントについて、子どもたちが事前に学習する時間を設けています。また、おさらいとして、水遊びの危険性や職員の話聞く大切さを都度学んでもらいます。



#### 【水遊び時の事故防止について】

##### 1. 1 人で水際に行かない。

必ず大人と一緒に行きましょう。もし 1 人で水際に行ったらっ転んだり、水に落ちたり流されたりしてもすぐに助けの事が出来ません。大人の手の届く範囲で一緒に遊びましょう。

##### 2. 大人から離れない。

保護者の方は一緒に遊ぶ担当と見守る担当を分け、見守る担当の大人はスマホを見ない。水深 10 cm でも危険なので、手の届く距離で見守りましょう。

##### 3. 水辺では走らない・押さない・跳びこまない。

水辺で走り、転んだり、人にぶつかってそのまま水の中に落ちてしまうと危険です。ぶつかった相手も危険にさらされることになります。また飛び込むことも水辺では周りを巻き込む危険があります。周りを見て静かに行動しましょう。

##### 4. 靴、サンダル、帽子、おもちゃが流されても追いかけない。

水の中でサンダルやおもちゃが流されても追いかけて行かないようにしましょう。海や川は急に深くなっている所や流れが速くなる所があるので、自分で取りに行かず「助けて！」と大人の人に大声で知らせよう。

##### 5. 気分が悪くなったら、直ぐに水から上がる。

寒い・めまい・お腹が痛いなどの症状があれば、直ぐに水から上がろう。また、睡眠不足・疲れ・体調不良の日は水遊びを控えるようにしましょう。